

「能登半島地震について

「キリスト教界の状況と動向」

元旦夕方に発生した能登半島地震については、目を追う毎に被害の甚大さが明らかになっていきます。道路や通信手段の分断が支援の手を阻んでいます。報道では、被災された方々の困窮する姿や、救助や支援に携わる方々の懸命な活動が報じられています。私たちは遠くにあつて見守るばかりですが、被災地とそこに住む人々、救援のために赴いている人々のために、祈りの手を挙げましょう。

キリスト教界でも発災直後から情報共有や具体的な行動が起きています。紙面の限りで紹介いたします。祈りの手掛かりとしてください。おもな情報元は「首都圏教会防災ネットワーク」です。

■能登の日本基督教団の教会(2日時点) 輪島教会は会堂の出入り口が潰れるなど大きな被害を受けました。

七尾教会は、教会堂と隣接する幼稚園の建物の被害は軽症です。そのため、近隣の人々が避難所として使っています。当初は100人、その後30名程が身を寄せています。

■聖書教会連盟の諸教会(3日時点) かつてシオン新年聖会の講師にお迎えした横山牧師が所属する内灘聖書教会。

石川県内に多数の教会があり、被害を受けた教会も少なくありません。宣教団体OMや日本福音自由教会などが現地教会と連携して支援が入っています。

←聖書教会連盟所属の教会



■外部団体の支援活動

「九州キリスト災害支援センター(九キ災)」、「ワールドビジョン」、「オペレーションプレッシング」、「OM」、「日本福音自由教会」などがすでに活動や募金を開始。「日本福音同盟」では情報収集を行っており、「キリスト全国災害ネット」では関係する支援団体・教会と情報を共有して今後の支援体制を作っています。

■蒲田シオンの対応

- ・支援団体に献金を送ります。
- ・緊急支援献金を募集します。礼拝堂の入口に献金箱を設置しています。
- ・共に祈りましょう。

なんと幸いなことでしょう。

その力があなたにあり、心の中に シオンへの大路のある人は。 彼らは涙の谷を過ぎるのときも その心を泉の湧く所とします。

詩篇 84 篇5, 6 a 節

元日には大地震が能登半島や北陸地方を襲い、その翌日には私たちのすぐそばで飛行機の衝突事故が起こり、新年早々に世間を不安に陥れる大きな出来事が連続し、心が痛みます。私たちの住む世界は、一寸先が闇で、いつ、どんな不幸に見舞われるか分からないのだと痛感します。

しかし、これが世界の現実です。私たちはこの世界を生きていかなければなりません。年頭に私たちの群れに掲げられた聖句には「主のあわれみは尽きない」とあります。聖書が教えているのは、私たち信仰者の人生とは、なぜこうして?と、思う出来事

真っ只中にあつても、神が回復してくださると期待できるということ。そこに、希望を抱くことができるのです。

どんな人でも、トラブルを一切抱えず、失敗もせずに、順風満帆に人生を送ることはできません。地上を生きているとは、誰しもが、時には嵐の中を進むような苦労を経験するもの

です。それは容易ではないですが、そうした経験がその人の品性や人格を練り上げ、大人へと成長させてくれます。残念なケースは、物事がうまく行かないときや挫折を経験したときに、それを認めずに人のせいにしたたり、理想ばかりを追い求めて地道な生活から逃

避することです。そのような人は成長がありません。

詩篇84篇は、ダビデ王が命を狙われて荒野を彷徨ったときに気持ちを歌ったものとも、バビロンに捕らえ移された人々の歌とも言われます。いずれにしても共通するのは、困難の中で神が回復してくれることを期待しているということです。自分の力ではありませぬ。自分の限界を認めて、神の力に期待するのです。5節の「力」とはヘブル語では「磐」「隠れ場」という言葉に通じます。つまり「神が私をかくまってくださると期待する人に、神の力は注がれる」と理解できます。そのような人は「涙を流しながら通る試練の道にあつても、人々を潤す存在になるのだ」というのです。そういう意味で信仰者とは、不安を抱える人々に神の恵みを示す存在なのです。(泰)

1月7日 聖日礼拝  
 第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄  
 第2礼拝 11時 吉田潔兄 高橋美姉  
 前奏  
 招詞 ハバクク書2章20節  
 会衆賛美 聖歌392  
 会衆賛美 鹿のように(左頁下段)  
 主の祈り 詩篇46篇1〜11節  
 交誦 (旧約聖書 980頁)  
 礼拝祈禱  
 使徒信条  
 聖書朗読 詩篇84篇1〜12節  
 (旧約聖書 1022頁)  
 説教 回復の望み 荻野泰弘牧師  
 聖餐(第2礼拝)  
 会衆賛美 聖歌651  
 献金  
 頌栄 聖歌376  
 祝禱  
 報告  
 二十歳の祝い(第2礼拝後)  
 感謝祈禱 奏楽  
 ※第1礼拝は礼拝後に聖餐式

【各会例会】  
 本日は、新年最初の例会です。主に  
 ある交わりをお楽しみみてください。

【新年聖会】  
 日程 2024年1月8日(月・祝)  
 [聖会Ⅰ] 午前10時半〜  
 [聖会Ⅱ] 午後1時半〜  
 会場 蒲田シオン教会  
 講師 臼田尚樹先生  
 日本キリスト合同教会  
 板橋教会 主任牧師

【招詞(主の招きのことば)】  
 ハバクク書2篇20節  
 「主は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ」  
 アーメン  
 【本日の予定】  
 ■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後  
 ■小学科ホザナ礼拝 3階 11時〜  
 ■バイブルカフェ お休み  
 ■各会例会  
 ダニエル会 3階  
 ミモザ会 外部  
 オリープ会 4階牧師室  
 青年会 6階

・年末感謝祈禱会 一年の最後の祈禱会は証し会として行いました。小さな集まりでしたが、兄弟姉妹の証しに神様の恵みを覚え、励まされるときでした。  
 ・クリスマス飾り付けの片付け 兄弟姉妹のご協力をいただき、終えることが出来ました。お手伝いくださった方々に感謝します。

【本日の礼拝奉仕者】  
 ■第1礼拝  
 礼拝祈禱 林修養生  
 聖書朗読 司会者  
 献金1階  
 献金祈禱 司会者  
 報告 荻野牧師  
 受付  
 聖餐奉仕 配信チーム  
 ■第2礼拝  
 礼拝祈禱 林修養生  
 聖書朗読  
 献金1階  
 献金祈禱 2階 司会者  
 報告 荻野牧師  
 会場 受付  
 聖餐奉仕



尊いご奉仕を感謝します。今年もよろしく願います。

・林眞光修養生 荻野牧師の休養の対応で月末まで蒲田で奉仕です。来週と再来週は礼拝説教奉仕です。また、3月には神学院卒業を控えます。お祈りください。

【お知らせ】  
 1/21(日) 13時半〜15時  
 聖書を学ぶワークシヨップ  
 「イエス伝」(第2回)

参加希望の方は礼拝堂掲示板に記名を。

【ご協力ください】  
 有志ボランティアチームが食品の無料配布を行います。配布日は2月3日の予定です。1月中は寄付を受け付けています。

【礼拝賛美】鹿のように  
 谷川の流れを慕う 鹿のように  
 主よ わが魂 あなたを慕う  
 あなたこそ わが盾  
 あなたこそ わがちから  
 あなたこそ わが望み  
 われは 主を仰ぐ